

適正価格の算出で進める！

# 金型の原価管理とコストダウン

～製品図面から直接金型費を算定する外注金型査定テーブルの作り方とAI見積サービスとの併用まで～

日時 2024年5月28日(火) 10:00～17:00 (9:30 受付開始)

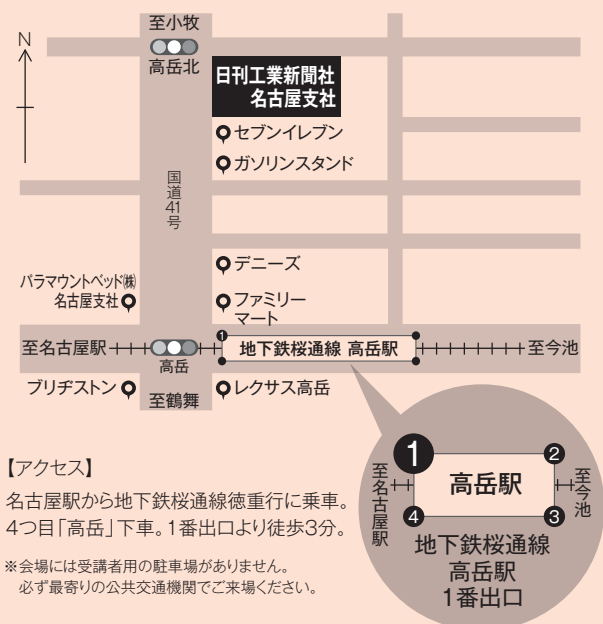
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 48,400円 (資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

## 日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】  
名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。  
必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

## セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

## 受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。  
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

## お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

## 受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。  
振込手数料は貴社でご負担願います。

## キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

## 申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG  
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

## 受講申込書

## 5/28 金型原価管理

お申し込みは <https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

## 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247523

# 開催主旨

「査定テーブル（コストテーブル）」という言葉はどの業界にも広く浸透しており、これを無視してコストを計算することはできません。ところが金型費に限っては、いまだに世間相場やこれまでの経験や勘に左右されることがあり、基準を構築し、実態に即した査定テーブルの算出は難しいとされています。加えて、金型価格は外部環境による変動が大きく、適正価格の把握は困難とされています。とはいえ、どのような環境下でも、適正な金型費の追求とコストダウンは、金型を購入する部門や設計に携わっている方々にとって避けて通れません。

本講座では、製品図面から金型費を算定する査定テーブルのつくり方とメンテナンスを含め、実際の活用事例を解説します。具体的なCAD見積のシミュレーションのデモンストレーションを行い、査定テーブルのイメージを深めていただきます。金型設計部門・購買部門・製品設計部門・コスト管理部門の方々にはお薦めの内容となっております。

最近では、AIの活用により3Dデータを入力するのみで見積や納期の算出、さらには加工プログラムの自動生成に対応する外注サービスが注目され、利用者を急速に拡大しています。本講座で学んだ内容とこれらのサービスを併用することの利点や、効果的な併用にも触れます。

※受講者には講師の著書「今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい原価管理の本」を進呈します。

## 講師

(株)MEマネジメントサービス 常務取締役 ECM/MD研究会会長

大塚 泰雄 氏

**【略 歴】** 大手工作機械メーカーに11年勤務。開発・設計、製造、営業技術などを経験し、(株)MEマネジメントサービス入社。現常務取締役。マネジメントコンサルタント。主に企業では、設計・生産技術・購買・製造部門の原価管理システムの立案・構築・実施やVE、IE、購買査定テーブルを活用した、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング業務が活動の中心である。その他、公開セミナー、社内教育などの活動も行う。

**【主な著書】** 『見える化でわかる売り値と買い値』（共著）、『よくわかる金型の原価管理とコストダウン』、『トコトンやさしい原価管理の本』（以上日刊工業新聞社）他多数

**【専門】** バリューエンジニアリング（VE）、設計標準化、設計管理、工場管理、生産管理、生産性向上、品質管理、標準原価管理  
※ECM/MD研究会：研究会ではモジュラーデザインの研究（深化）・進化と世の中の普及へ向けて、積極的な活動を推進しています。

<https://www.mejapan.com>

## プログラム

### 第1章 製品図面から金型費を読む査定テーブルとは

—製品図面から重要な情報を抽出するポイント

- 1-1 日本の金型産業の実態
- 1-2 金型費の原価構成
- 1-3 金型費のあるべき姿を追求する
- 1-4 上流段階でのコスト把握の重要性
- 1-5 CAD情報から金型費を見積るには
- 1-6 製品図面から金型費を読むには
- 1-7 外部見積・発注サービスとの併用と効果（特注金型部品）

### 第2章 査定テーブルを作るための急所

—査定テーブルについての基礎知識を理解する

- 2-1 原価見積にはどんな種類があるか
- 2-2 金型費を見積る原価の単位とは
- 2-3 2つある金型査定テーブルの作成方法
- 2-4 査定テーブル作成に欠かせない分析方法
- 2-5 特急料金を査定テーブルに反映させるべきか

### 第3章 使える査定テーブルを作るための段取り

—精度の高い査定テーブル作成ポイント

- Point1 使用頻度の多いタイプより作成する
- Point2 金型費を見積る単位の設定を明確に
- Point3 グループ分けの基本をマスターする
- Point4 査定テーブルを作るグルーピング分析
- Point5 査定テーブルにおける管理レベルを明確に
- Point6 作成した査定テーブルを海外で使うには

### 第4章 精度の高い査定テーブル作成からメンテナンスまで

—最適算式を作成し実務活用レベルへの展開

- Step1 金型費を左右する要因を製品図面より分析
- Step2 要因のデータ収集
- Step3 主変動要因で行う回帰分析
- Step4 算式の精度アップの進め方
- Step5 実務に即した査定テーブルのレベル決定
- Step6 事前にコストダウン金額を算定
- Step7 手間のかからないメンテナンス

### 第5章 査定テーブルを使った購買部門での管理

—査定テーブルを使った購買管理とは

- 5-1 金型費を管理するしくみとは
- 5-2 金型を安く買うための対応策
- 5-3 購買効率管理の具体例
- 5-4 金型外注の格付け評価の考え方
- 5-5 金型費の価格交渉における3つの進め方

### 第6章 金型を技術的にコストダウンする

—安い金型を技術的に追求する

- 6-1 金型費の2種類あるコストダウンのやり方
- 6-2 金型費に含まれるムダを見つける方法
- 6-3 ランニングコストを考えた査定テーブルとは
- 6-4 査定テーブル作成にあたり
- 6-5 外部見積・発注サービスに100%依存しない力をつける